

大空町議会【議会報告・町民との意見交換会】 主な質問・意見等集約表

会場	開催日	開催時間	参加者		
			町民	議員	計
東藻琴老人福祉センター 「フロックス」集会室	平成25年2月23日(土)	13:30 ~ 16:00	34人	12人	46人
<b>「議会報告会の部」での質問・意見等（両常任委員会委員長報告後）</b>					
主な質問・意見等			議会側の回答		
<p>朝日ヶ丘公園パークゴルフ場の利用率は、指定管理者への指導だけでは上がらない。問題は、立地場所である。女満別の市街地から遠く、東藻琴側の住民が行きたいと思っても、目立った案内看板がない。女満別地区では、その他の公共施設も点在し、市街地から離れている。交通手段や土地柄に詳しくなければいいが、そうでなければ利用したくてもできない。</p>			<p>行政に対し、案内看板の設置を再度働きかけたい。</p>		
<p>観光地（芝桜公園）付近、道道川湯線沿いと、そこから数十分足らずのところ空き家があり、そのままの状態である。観光と地域との関係をどう結びつけていくのか。</p>			<p>視察先でも、市街地での空き家、離農に伴う空き家といった課題を抱えていた。本町にはそういった対策を講じる条例がなく、今後、条例を定めて対応していきたいと思っており、早急な対応が必要と考えている。</p>		
<p>朝日ヶ丘公園の指定管理者側とのトラブルが、女満別パークゴルフ協会の解散要因と聞いた。協会の再結成に向けて動き始めているそうだが、昨年、また同じところが指定管理者となったようである。議会としての対応方法を考えておいてもらいたい。要望である。</p>			<p>要望として受けとめる。</p>		
<p>東藻琴地区に計画されている「道の駅」のゆくえは、どうなったのか。ふれあいトークでも若干触れられていたが、どのように進められているのか。</p>			<p>「道の駅」ではなく「地域振興施設」という形で、検討が進められている。検討開始から2年ほど経過しており、昨年11月に開催された産業建設常任委員会の中では、「建設場所はある程度内諾を得ながら、地域振興施設運営検討委員会の中に作業部会を設け、検討を進めている。」旨の報告を受けた。</p> <p>それ以前に開催された産業建設委員会でも報告を受けてきた中で、経費等が膨大であり、現地に反対意見もあることから、慎重に進めてほしいとお願いしている。</p> <p>産業建設委員会での意見等を踏まえ、担当職員や地域振興施設検討委員会委員が苦労しながら進めていると把握している。</p>		

<p>女満別地区にある「道の駅 メルヘンの丘めまべつ」の入込状況や経常利益など、その運営状況はどのようなになっているのか。</p>	<p>入込数や収益等、具体的な資料を持ち合わせておらず、後ほどお示ししたい。</p> <p>地道に運営している状況にある。</p>
<p>指定管理者制度を運営していく上で、指定管理者に対して行政がどれほどの資金を投じているか。独立採算が可能ということは、現実的に考えられない。今後整備する施設(地域振興施設)でも、赤字、黒字といった議論だけでは意味をなさない。行政がどれだけ支援するのか、議会が粘り強く議論していく必要がある。収益等の見込みを明らかにし、お金の流れをはっきりさせてもらえると、ありがたい。</p> <p>(参加くださっていた地域振興施設運営検討委員会メンバーからの発言):</p> <p>地域施設検討委員会は14人で構成され、これまで6回ほどの会議を重ねてきた。同委員会下に「作業部会」を設け、そこで5回審議してきた。</p> <p>部会では各論的な部分を検討している。皆真剣に、慎重に考えているため、思うように検討が進んでいかないが、マイナスの方向とはなっていない。</p> <p>「東藻琴が疲弊する」という声が上がっていた。疲弊する=マイナスである。そういった中で、地域振興施設を整備していくということは、マイナスをプラスに変えるチャンスであり、実現に向けて努力していきたい。</p>	<p>要望という形で受けとめたい。</p>
<p>(上記 検討委員会委員の発言を受けて)地域振興施設検討委員会の構成など、町民に伝わっていないことが多い。そんな中でうわさが先行し、誤った情報が広まるといったことにもなる。情報はきちっと伝えるべきである。しっかり進めてほしい。意見として述べる。</p>	<p>意見として受けとめる。</p>
<p>自治会役員で、地域の独居老人等への声かけ訪問を行い、訪問先の方から感謝の声が聞こえてきた。</p> <p>高齢化が進む中、行政として独居老人等に対する取り組みに欠ける部分があるのでは。行政の福祉担当から民生委員などに対する情報の伝達、情報の共有がなされているのか。</p>	<p>直面している課題であり、対応策を検討していく中で、平成21年度から「見守りネット事業」の取り組みが始まっている。そこを補完するような形で、自治会組織や民生委員など、行政だけに頼らず地域全体で網かけをしていく、その取り組みがまさに始まったところだと認識している。</p> <p>自治会で訪問活動を行ったという話をされたが、そのことが本町でもっと広がりを見せればありがたい。</p>

	<p>民生委員活動等、議会側からも働きかけをしていく。</p> <p>時代の変遷から、地域の中の助け合いが薄れている状況も見受けられる。訪問活動を拒み、対外的な接触を避けて引きこもる状態にならないよう、移送・配食サービスなど制度を知ってもらい、利用してもらおう。そこから社会参加を促す。本町には、そういったツールがあり、それを1カ所に任せるのではなく、いろいろな角度から取り組み、網から抜け落ちないようにしていかなければならない。行政側の対応ももちろんだが、議会としてもしっかりチェックしていきたい。</p>
<p>(上記の意見等に関連して)行政側から発信する情報が不足している。見守りネットの中でも、対象を一定年齢に限るなど、限定的。実態は、もう少し違うところがあると思う。年齢など、データはコンピューターを活用すれば、すぐに出せる。そのデータをもとに、民生委員や地域の方と意見交換し、必要な方に対して対応していけばよい。行政側に、「委託先に任せているので、行政側が動かなくてもできている。」という勘違いがあるように思う。行政側が、積極的に情報を出し、必要とする方、対象とするべきところを探る。そういったことに、行政側が力を入れてやっていかなければならないのではないか。</p>	<p>議会として、さまざまな政策提案を行うことを通じて、よりよい「まちづくり」、高齢者対策に取り組んでいかなければならないと思っている。</p> <p>自治会の方々にも、協力いただくことが必要。そういった、関係する方々が中心となって動いてもらい、それをバックアップしていく。そういった体制づくりに向けて、行政側と協議し、よりよい方向に進んでいくよう、議会としても努力したい。</p> <p>行政、社会福祉協議会や民生委員など、いろいろな取り組みをしてきているが、単独で進めていくことには限界がある。そういった団体等が、どのように連携していくか、情報を共有した形で取り組んでいけるかが、現状ある課題ではないか。今は、その課題解決に向けて進んでいこうという段階なのだと思う。</p>
<p>(上記の意見等に関連して)条例を定め、一定の個人情報オープンにした、ある自治体のことが新聞報道されていた。現行の個人情報保護は「制限」である。町民の命、生活を守ることが大前提。個人情報保護の観点から閉鎖的になり、情報を出していないというのは、行政側の大きな間違いである。町民の生活を守る前提があれば、一定の情報を公開することは、個人が反対しても地域の人たちは反対しない。きちっと条例を定め、行政が責任を取るスタンスであれば、大抵のことはクリアできる。</p> <p>行政側と民生委員などとの連携がとれておらず、実質的には個別の動きになっている。</p>	<p>行政、社会福祉協議会などの事業実施側はもちろん、自治会など地域の方々との協力も得ながら、情報の共有を図った中で「見守り」の率を上げていこうという、スタート地点についてのようにも感じている。</p> <p>少しでも不安を感じる方には、病状、かかりつけ医や緊急連絡先などを記載する「安心カード」を可能な限り作成してもらいたい。個人情報に触れることかもしれないが、安全、安心の確保には必要な情報である。行政なりが保管し、必要なときに情報を有効活用できる手段を広げていかなければならない。</p>
<p>(上記 ~ 関連)個人情報にこだわり過ぎではないか。誰にも相談できず、亡くなってしまうケースも出てくる。行政側が、ある程度の情報を出して、</p>	

<p>声かけが必要と思われるところを巡回し、確認することができれば、また違うと思う。</p> <p>行政は法令にこだわり過ぎ、逃げ言葉も多い。それを変えるのが、議会である。議会で研修にも行っているので、どういった情報共有をしているか、そういった勉強も必要ではないか。</p>	
<p><b>「意見交流会の部」での質問・意見等</b></p>	
<p>主な質問・意見等</p>	<p>議会側の回答</p>
<p>大空町の現状は、行政側と見守りネット事業に取り組む社会福祉協議会などが、別の場所にある。情報共有を充実させるため、相談に訪れた場合に関係者が一堂に会しているような状況にする、関係者等と同じフロアに集約するなどといった形に、大空町もしていく必要があるのではないか。</p>	<p>関係者の情報共有、連携が重要であり、その手段としてどのような形がふさわしいか、よりよい形にしていけるかを改めて検討し、行政側にも働きかけていきたい。</p>
<p>全国的に「大空町」の知名度が低い。役場職員や議会が、町をPRするため「大空町PR実施隊」のような形をとってはどうか。名刺に「大空町観光大使」といったようなことを表記するなど検討しては、知名度アップに向けた取り組みの努力が、職員も議会議員も足りないように思う。</p>	<p>知名度アップには、きちっとした戦略が必要と考える。各種イベントなどを通じて、いかにPRしていくか。最小経費で最大効果を出せる方法を考えていかなければならない。</p>
<p>(上記に関連して)大空町の知名度アップには、空港の名称を「女満別空港」から「大空空港」にかえることが、非常に大きな効果になるのではないか。一番のPRになると思う。</p>	<p>「女満別空港」は、世界の空港時刻表に掲載されている。名称を「大空空港」にかえることで、世界の空港時刻表の名称をかえなければならなくなってしまう。</p> <p>過去に空港の名称変更が話題にのぼったことがある。名称変更の可否を調べていく限りでは、難しい状況にある。</p>
<p>大空町をPRしていく上で、例えば観光協会のように両地区別個に組織される団体も、「大空町」として一本化する、そういうように足元を固めていく必要があるのではないか。</p> <p>再結成に向けて動き出した「女満別パークゴルフ協会」も、その組織にあっては「大空町パークゴルフ協会」として発足するのがいいのではないかと考えている。</p>	<p>議会の中で、パークゴルフ協会の再結成に向けた動きについて町長から答弁されている。</p> <p>一つの町にパークゴルフ協会が二つあったことは、町村合併という事情によるものである。</p> <p>女満別パークゴルフ協会が解散した理由を整理していかなければ、「大空町」として組織しても続かない。両地区のプレーヤーが意思疎通し、新たな協会がつくれれば良いと思う。</p>
<p>芝桜公園温室で栽培しているイチゴの廃棄処分について、300万円程度の損害が出たと聞いている。広報誌に町長からの謝罪文が載ると思っていたが、それも全くない。このことに関し、議会は行政側に</p>	<p>町民の中に、イチゴの苗を枯らせたとか、そういったうわさが一部流れているようだが、そういった事実は、全くない。</p> <p>イチゴの苗の提供元から農薬散布の考え方を聞</p>

<p>対してどのように対応してきたのか。</p>	<p>き、その方法で実施した。出荷前の農協連農産物検査センターでの検査段階でイチゴに使用できない農薬であったことが判明し、廃棄処分したということである。その後、すぐに床土と苗を入れかえている。</p> <p>損害額について、300万円と発言されていたが、そこまでの金額にはなっていない。</p> <p>イチゴの収穫時期は若干おくれるが、5月頃には収穫できる見込み。町の広報誌には、処分の経緯とともに「楽しみにされていた町民皆様におわび」ということが触れられているので、その対応でよいと判断している。</p>
<p>地方自治法で、地方自治体は最小経費で最大の効果を上げるようにしなければならないと規定されている。それをもとに、議会は行政を厳しく監視する役割があるはずである。(上記 に対する回答を受けて)そのような対応でよいのか。緊張感を持ってもらわなければならない。</p>	<p>人がやっていることであり、ミスは少なからずある。そこを指摘し続けると、取り組みが停滞するなど、マイナスの効果も出てくるのではないか。</p> <p>大きな気持ちを持って(今後の状況などを)見守る姿勢も(町民皆さんに)持っていただきたい。</p>
<p>(上記 、 関連) 議会は、町民の代表である。どういった考え方で、行政側に対応しているのか。また、損害額は、実際どの程度か。</p>	<p>イチゴの処分の件は、すぐに議会へ一報があり、所管となる産業建設常任委員会で報告を受け、現地も視察している。</p> <p>新たなイチゴの苗、土の用意のため、180万円ほどが必要になる。芝桜公園管理公社の負担である。</p>
<p>(上記 ~ 関連) 損害額が少なければ、町長の謝罪は不要ということか。広報誌に掲載されたのは、収穫のおくれに対するおわびであって、損害を出したことのおわびではない。</p> <p>(議会側の) 対応、考えが甘いように感じる。</p>	<p>(損害額を) 前面に出せばいいということではないと思っている。</p> <p>実際に食される前段で事態が判明したことは、良かったと思っている。</p> <p>今回の件で、誤解や不信感を与えたのは事実。所管である産業建設常任委員会として、責任を感じている。そのことについてはお詫びする。</p> <p>イチゴハウスの管理は委託業務であり、平成25年度から指定管理となる。</p> <p>昨年、コバエが大量発生し、その対応として使用した農薬が、イチゴに対して使えないものであった。その段階では使用できない農薬ということ把握できておらず、出荷前検査での農薬数値が高過ぎたため、出荷できない状況となった。そこから経緯をたどると、使用できない農薬だったことが判明したということである。産業建設常任委員会の中で</p>

	<p>は、各委員から厳しい意見も出された。</p> <p>今後、同じようなことが起きないように厳しく指摘し、関係機関と連携しての研究、担当者の研修などを求めている。農薬散布状況や管理業務日誌などを整備し、進めていくということを確認している。</p> <p>芝桜公園管理公社に委託した中で、作業が進められており、そこも含めて産業建設常任委員会で議論してきた。</p> <p>イチゴ栽培は、温浴施設の活用と、障がい者の雇用の場の確保といった意味合いを持っている。廃棄することとなったが、次へのステップとして、前向きに捉えていただければ、ありがたい。</p>
<p>(上記 ~ 関連) 廃棄処分という実際に起こった事態を、今後プラスの方向へ持っていくために関係機関と連携を取りながら進めるということなので、よいと思う。</p> <p>ただ、平成23年度のふれあいトークの中で、イチゴ栽培の関係が話題となったとき、私は地元の農業高校である東藻琴高校との連携が必要ということ述べた。その意見反映が、されていなかったということである。</p> <p>委託であっても、その責任の一端は行政にある。不満に思う町民もいるようなので、改めて広報等で状況を知らせる、謝罪するなら謝罪するなどして、事態収拾に向けて、はっきりさせるべきではないか。せっかくの新たな取り組みが、マイナスになってしまう。</p> <p>実際には、起きてしまったこと。同じ事態にならないよう、議会が今後厳しく対応していけばよいことである。</p>	<p>東藻琴高校との連携は、今後進めていこうとしていると報告を受けている。</p> <p>寄せられた意見を十分議会で検討し、行政側に伝えていきたい。</p>
<p>防風林の手入れがおくれているようである。立ち枯れるのではと懸念される。</p> <p>伐期に適応した施業がされていないところについての配慮も必要かと思う。中には倒木も見られる。</p>	<p>要望として受けとめる。</p> <p>農作業との兼ね合いの中で、防風林整備の初期目的とかけ離れたところも出てきているように感じている。</p> <p>町側でも、法規制の兼ね合いで対応が困難という状況があり、その法規制の見直しを国に要請していく動きが、昨年頃から出てきている。</p> <p>新たな情報等があれば、提供していきたい。</p>

<p>老人クラブ、寿クラブの構成をみると、60歳代から80歳代と、年齢の幅が広い。若い世代は、活動中に80歳代の世話をしなければならない状況もあると聞いている。そういった状況からも、60歳代の若い世代のかたは、加入を敬遠するきらいがあるようだ。</p> <p>加入年代の決め方を、例えば70代の方々にするなど、そういったことは考えられないのか。</p> <p>(参加くださっていた寿クラブ関係者から発言):</p> <p>これまでの活動の流れの中で、加入年齢がある程度固定となってきたが、あくまでも自主的な参加である。いつ加入するかは、自由である。</p>	<p>行政側などに伝えていきたい。</p>
--	-----------------------